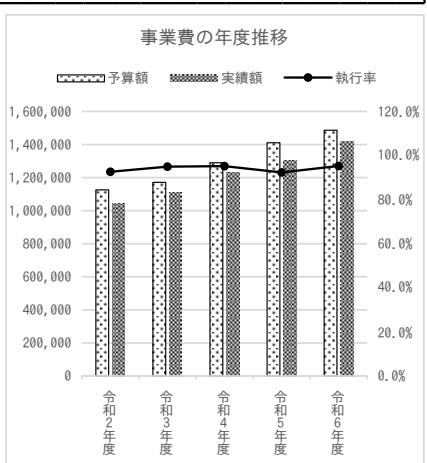


施策	29 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり						
分野	08 文化を育み継承し、スポーツに親しむことのできるまち						
施策担当課	スポーツ振興課			関係課			

施策目標	○障害の有無や年齢にかかわらず、すべての区民にとってスポーツ・運動がより身近になり、スポーツ・運動に親しむ区民が増えています。
	○スポーツ・運動に親しみ、楽しむことにより、健康であると感じている区民が増えています。
	○障害者がスポーツ・運動に親しむことができる場と機会が充実しています。

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度 目標値
活動指標	ユニバーサルタイム開催回数		回	計画	2	14	20	28	令和12年度 65%
				実績	2	13	20	-	
				達成率	100.0%	92.9%	100.0%	-	
	成人の週1回以上のスポーツ・運動の実施率	区民意向調査による	%	計画					
				実績	56.4	58.3	57.1	-	
				達成率	91.0%	94.0%	90.6%	-	
	健康であると感じている区民の割合	区民意向調査による	%	計画	86	86	87	87	令和12年度
				実績	83.5	83.6	86.2	-	90%
				達成率	97.1%	97.2%	99.1%	-	
成果指標	障害者スポーツ事業の参加者数		人	計画	450	550	1,300	1,600	令和12年度
				実績	1,022	1,243	1,687	-	2,700人
				達成率	227.1%	226.0%	129.8%	-	
	行政サービス成果指標			計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類			計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類			計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類			計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	1,125,781	1,171,320	1,289,784	1,410,708	1,486,464	1,792,387	事業費の年度推移
		実績額	1,042,977	1,112,410	1,227,890	1,302,744	1,416,298	-	
		執行率	92.6%	95.0%	95.2%	92.3%	95.3%	-	
人件費	千円	予算額	114,670	123,266	120,560	128,448	137,744	158,652	予算額 実績額 執行率
		実績額	129,643	130,988	138,911	157,749	180,469	-	
		執行率	113.1%	106.3%	115.2%	122.8%	131.0%	-	
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	1,240,451	1,294,586	1,410,344	1,539,156	1,624,208	1,951,039	
		実績額	1,172,620	1,243,398	1,366,801	1,460,493	1,596,767	-	
		執行率	94.5%	96.0%	96.9%	94.9%	98.3%	-	
国・都からの補助金等	千円	予算額	0	0	39,210	2,450	2,700	59,000	
		実績額	951	1,102	39,218	3,041	6,922	-	
		執行率	-	-	100.0%	124.1%	256.4%	-	
総事業費伸び率 (予算額、実績額の対前年度比)	%	予算額		4.4%	8.9%	9.1%	5.5%	20.1%	
		実績額		6.0%	9.9%	6.9%	9.3%	-	
人件費比率 (人件費÷総事業費)	%	予算額	9.2%	9.5%	8.5%	8.3%	8.5%	8.1%	
		実績額	11.1%	10.5%	10.2%	10.8%	11.3%	-	



特記事項

施策の成果	<p>「スポーツ・運動に親しむことができる場と機会の充実」については、施設の指定管理者や関係団体と連携しながら、スポーツをする機会の少ない区民向けの教室・プログラム等を実施しました。令和7年5月に実施した区民意向調査では、「成人の週1回以上のスポーツ・運動の実施率」は57.1%、「健康であると感じている区民の割合」は86.2%となり、それぞれ成果指標の目標値63%、87%を下回りました。</p> <p>「障害者スポーツの推進」については、ユニバーサルタイムを荻窪体育館12回、上井草スポーツセンター8回の計20回開催し、延べ426人が参加しました。これらの取組や各指定管理者が実施した障害者向けのスポーツ教室等の実施により、障害者スポーツの事業の参加者数は1,687人となり、成果指標の目標値1,300人を大きく上回りました。</p> <p>「体育施設の整備・充実」については、下高井戸おおぞら公園多目的スポーツコートの管理棟をはじめとした区立体育施設の整備・充実を計画的に進め、体育施設の利用者は1,456,993人（令和5年度比17,687人の増）となるなど、誰もがスポーツ・運動に親しむことのできる環境づくりに取り組みました。</p>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

課題の分析	<p>体育施設の利用者が増加した一方、「成人の週1回以上のスポーツ・運動の実施率」は、令和5年度の実績値と同程度となりました。また、「健康であると感じている区民の割合」は、直近3年間横ばい傾向だったことに対して、約3%高くなり、僅ながら区民の健康意識が高まりつつあります。</p> <p>「障害者スポーツの推進」については、ユニバーサルタイムは、荻窪体育館では月1回の開催が定着し、指定管理者と連携した円滑な運営のあり方を確立する段階にきています。上井草スポーツセンターは、立ち上げから3年目となり、運動場での実施についてはノウハウが蓄積されつつありますが、令和6年度から始めた体育館での実施については安定的な運営スタイルを確立する必要があります。また、永福体育館での障害者スポーツネットワークとユニバーサルタイムの立ち上げに当たっては、ネットワークのメンバーや、近隣の特別支援学校へのアンケート調査などを踏まえて、当事者のニーズを反映したプログラムを実施する必要があります。また、今後のユニバーサルタイムの継続的な実施に当たっては、現場を支えるサポート一の養成に加え、現在は一部業務を委託している指定管理者の役割の拡充について検討するなど、実施体制の充実に向けて取り組む必要があります。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	<p>「スポーツ・運動に親しむことができる場と機会の充実」については、体育施設の指定管理者が時代のニーズを捉えた魅力的なスポーツ教室を展開するとともに、学校施設をスポーツ事業の場として有効活用を図るなど、より多くの方々がスポーツ・運動に親しむことができる場と機会を充実していきます。</p> <p>「障害者スポーツの推進」については、今後も障害者スポーツネットワークで意見を聴取しながら、ユニバーサルタイムの、実施回数を増やすとともに新たにプールを活用した取組を行う等、障害者スポーツの拡充と充実を図っていきます。</p> <p>「体育施設の整備・充実」については、令和8年度の下高井戸おおぞら公園の多目的スポーツコート及び管理棟の開設に向けて、公園の一体性や近隣の体育施設との連携を考慮し整備に向けた取組を進めるとともに、老朽化した体育施設の設備についても計画的に修繕・改修を行っていきます。</p>

令和7年度 杉並区施策評価シートII（施策を構成する事務事業）

【施策 29】 【施策名称 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり】 ※金額の単位は千円

整理番号	事務事業名称	実行計画事業 主要事業	令和6年度事業費	人件費	総事業費	施策から見た事業の方向性
1 100	生涯スポーツ振興事業	○	24,611	91,207	115,818	現状維持
2 101	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団への助成	○	118,607	5,989	124,596	現状維持
3 102	スポーツ推進計画	○ ○	9,672	11,123	20,795	推進（拡充）
4 103	体育施設の維持管理	○ ○	1,072,873	58,546	1,131,419	現状維持
5 104	下高井戸おおぞら公園スポーツコートの整備	○ ○	190,535	13,604	204,139	縮小（廃止）
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						
合計				1,416,298	180,469	1,596,767

施策を構成する事務事業に関する特記事項	
---------------------	--

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	生涯スポーツ振興事業						款 03	項 06	目 01	事業 001	整理番号	100
現担当課名	スポーツ振興課						係名	事業係			連絡先	1673
上位施策No・施策名	29	誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり						電話番号	昨年度 整理番号		105	
事業開始	昭和37年度	実行計画事業		分野	08	施策	29	計画事業	01	02		
令和6年度 担当課名	スポーツ振興課						事業評価区分	一般				

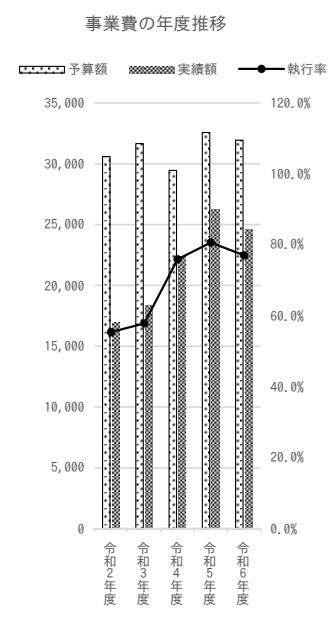
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 社会教育法第2、3、5条、スポーツ基本法第22条、32条 杉並区スポーツ推進委員に関する規則、杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図るとともに、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。 ○第32期（令和6～7年度）スポーツ推進委員と、地域拠点活動や、綱引き大会などのレクリエーションスポーツの普及啓発を行う。 ○重度心身障害者スポーツ教室（わいわいスポーツ教室）をボランティア等と年6回開催する。 ○交流自治体中学生親善野球大会を開催する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	各種生涯スポーツ事業回数		回	計画	27	21	22	24
成果指標	共催件数		件	実績	19	22	23	-
	各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数	生涯スポーツ振興事業の延べ参加者数	人	達成率	70.4%	104.8%	104.5%	-
分類 行政サービス成果指標	各種事業ボランティア等人数	生涯スポーツ振興事業8事業の実行委員・ボランティアの延べ人數	人	計画	35	35	35	35
			人	実績	33	33	33	-
			人	達成率	94.3%	94.3%	94.3%	-

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	30,593	31,659	29,458	32,572	31,939	36,226
		実績額	16,950	18,323	22,368	26,271	24,611	-
		執行率	55.4%	57.9%	75.9%	80.7%	77.1%	-
人件費	千円	予算額	50,564	53,314	51,977	58,226	66,968	68,448
		実績額	47,532	54,563	68,790	72,409	91,207	-
		執行率	94.0%	102.3%	132.3%	124.4%	136.2%	-
上記以外の職員	千円	予算額	3,080	0	0	0	0	0
		実績額	3,628	0	0	0	0	-
		執行率	117.8%	-	-	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	84,237	84,973	81,435	90,798	98,907	104,674
		実績額	68,110	72,886	91,158	98,680	115,818	-
		執行率	80.9%	85.8%	111.9%	108.7%	117.1%	-
財源	千円	受益者負担分①	0	0	0	0	0	0
		国・都からの補助金②	0	0	5,878	2,450	2,700	2,900
		その他の補助金等③	951	1,102	5,553	3,041	3,372	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	951	1,102	5,553	3,041	3,372	-
		執行率	-	-	94.5%	124.1%	124.9%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	84,237	84,973	75,557	88,348	96,207	101,774
		実績額	67,159	71,784	85,605	95,639	112,446	-
		執行率	79.7%	84.5%	113.3%	108.3%	116.9%	-



特記事項

スポーツ推進委員の欠員による非常勤報酬の残、重度心身障害者スポーツ教室（わいわいスポーツ教室）の一部変更や参加者が少ないとによる報償費の残により、執行残が生じています。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	交流自治体中学生親善野球大会の開催等	263	人	9,040
	中学校対抗駅伝大会の開催	372	人	8,208
	スポーツ推進委員の活動	22	人	2,990
	体育団体活動の奨励	21	件	1,565
	その他（その他（わいわいスポーツ教室、スポーツ栄誉章等））			2,808

取組成果	交流自治体中学生親善野球大会は、台湾台北市、南相馬市の中学生が杉並区に集まり、総勢160人の中学生が野球を通じた交流を行いました。中学校対抗駅伝大会は、例年の会場であった済美山運動場が改修工事のため、都立和田堀公園第一競技場を起点とするコースで実施し、区内公立・私立中学校と南相馬市チーム、男女合計372人が参加し、120人の区民協力者等が関わりました。重度心身障害者スポーツ教室（わいわいスポーツ教室）を全6回開催し、延112人が参加しました。スポーツ推進委員は、区内4つのエリアで地域の実状に応じて地域拠点活動を行ったほか、綱引き大会、ビーチスポーツイベントなどの全区的事業を行い、地域住民のスポーツのきっかけづくりを推進しました。スポーツ栄誉顕彰は、栄誉章（14組48人）と特別栄誉章（1人）を授与しました。各種体育団体の活動に、共催（33件）、後援（104件）を行い、活動を支援しました。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	成果指標（1）の「各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者」の実績値は、目標値2,435人に対して、実績値は2,348人でした。個々の事業をみると、重度心身障害者スポーツ教室（わいわいスポーツ教室）の参加者が、コロナ禍以降、徐々に増加しているほか、東吾妻町とのスポーツ交流の5年ぶりの開催等により、昨年度の実績値（1,774人）からの大幅増につながっています。成果指標（2）の「各種ボランティア等人数」は、目標値340人に対して実績は409人と、目標を上回る結果となりました。各種事業に多くの区民ボランティアに関わっていただいているおり、支えるスポーツへの関心の高さが伺えます。一方で、スポーツ推進委員は定数50人に対して20人前後を推移しており、単発的な活動から継続的な活動へ、支えるスポーツに対する関心を高めるよう周知方法を工夫し、委員の確保に努めます。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	交流自治体中学生親善野球大会は、12月に台湾で開催される大会に参加し、杉並区の中学生30名が南相馬市の中学生と共に台湾の中学生と交流します。中学校対抗駅伝大会は、12月に開催し、男女とも約25チームが参加する見込みです。重度心身障害者スポーツ教室（わいわいスポーツ教室）は、年6回開催し、毎回定員に近い申込みがあります。スポーツ推進委員は地域拠点活動や綱引き大会を行い、スポーツのきっかけづくりに取り組んでおり、共催・後援による体育団体事業は、計画された全ての事業が開催され、多くの区民が参加する見込みです。
事業の方向性・改善策	交流自治体中学生親善野球大会は、令和8年度の杉並開催に向けて、交流自治体の参加が増えるよう取り組みます。中学校対抗駅伝大会は、子どもたちの交流や挑戦など、多様な体験の機会となるよう取組を進めるとともに、1校当たりの生徒数の減少や教員の負担などの課題について、引き続き関係者の声を聞くなどの実情把握を行い、具体的な改善策の検討を進めます。また、重度心身障害者スポーツ教室（わいわいスポーツ教室）は、参加者の増加に合わせて、プログラム内容やボランティア体制、送迎車両を充実させます。スポーツ推進委員の募集に当たり多方面に周知を行うことで委員の増員を目指します。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	交流自治体中学生親善野球大会や、中学校対抗駅伝大会の開催、スポーツ推進委員の活動などの生涯スポーツ振興事業は、令和8年度も令和7年度と同規模で実施する予定です。交流自治体中学生親善野球大会は、令和8年度は杉並区において複数の交流自治体の中学生を招いて開催する予定であり、大会会場の設営や交流プログラムに関する経費等かかるため、予算規模に大きな変更はありません。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

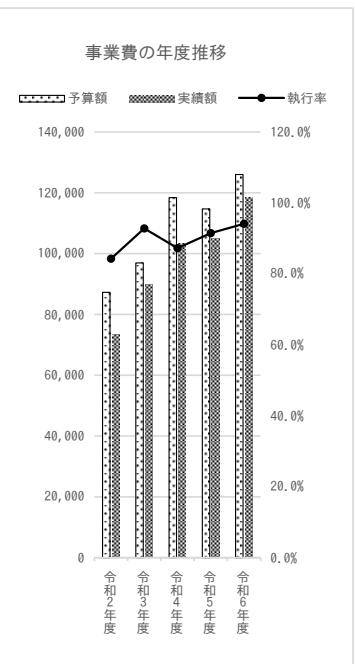
事務事業名称	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団への助成					款 03	項 06	目 01	事業 002	整理番号	101	
現担当課名	スポーツ振興課					係名	施設管理係		連絡先	1695	昨年度 整理番号	106
上位施策No・施策名	29	誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成5年度	実行計画事業	分野	08	施策	29	計画事業	01	02			
令和6年度 担当課名	スポーツ振興課					事業評価区分	一般					

令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 社会教育法第3、5条 スポーツ基本法第34条
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が行う、「各種スポーツ教室・講座及び各種大会の運営に関する事業」、「スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業」、「スポーツ振興のための普及啓発事業」等に必要な経費を助成する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	教室等参加者数		人	計画	38,000	29,518	30,279	27,889
成果指標	事業開催数		種目	実績	22,657	25,193	27,166	-
	運動・スポーツをしていない人の割合	区民意向調査による	%	達成率	59.6%	85.3%	89.7%	-
分類	利用者満足度		%	計画	31	31	30	29
	利用者満足度		%	実績	29	31	30	-
分類	利用者満足度指標		%	達成率	93.5%	100.0%	100.0%	-
	利用者満足度指標		%	計画	15	15	15	15
事業費	予算額	87,264	96,935	118,402	114,695	126,009	135,841	
	実績額	73,545	89,966	103,306	104,934	118,607	-	
人件費	執行率	84.3%	92.8%	87.3%	91.5%	94.1%	-	
	予算額	2,615	4,252	3,337	4,159	4,186	4,278	
上記以外の職員	実績額	5,357	5,840	4,159	5,860	5,989	-	
	執行率	204.9%	137.3%	124.6%	140.9%	143.1%	-	
総事業費 (事業費+人件費)	予算額	89,879	101,187	121,739	118,854	130,195	140,119	
	実績額	78,902	95,806	107,465	110,794	124,596	-	
財源	執行率	87.8%	94.7%	88.3%	93.2%	95.7%	-	
	予算額	0	0	0	0	0	-	
受益者負担分 ①	実績額	0	0	0	0	-	-	
	執行率	-	-	-	-	-	-	
国・都からの 補助金 ②	予算額	0	0	0	0	0	-	
	実績額	0	0	0	0	-	-	
その他の 補助金等 ③	執行率	-	-	-	-	-	-	
	予算額	0	0	0	0	0	-	
特定財源 (①+②+③)	実績額	0	0	0	0	-	-	
	執行率	-	-	-	-	-	-	
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	予算額	89,879	101,187	121,739	118,854	130,195	140,119	
	実績額	78,902	95,806	107,465	110,794	124,596	-	
	執行率	87.8%	94.7%	88.3%	93.2%	95.7%	-	



特記事項

令和6年度の事業費（補助金）は、人件費等の増により、前年度と比較して増加しました。
成果指標（1）運動・スポーツをしていない人の割合は、計画（目標値）よりも実績が低い場合に、より成果があったと評価できる指標です。

	内 容	規 模	単 位	事 業 費 (千円)
主な取組	運営等補助	1	団体	118,607
	その他 ()			0
取組成果	<p>公益財団法人杉並区スポーツ振興財団では、学校や障害者施設等を活用した各種スポーツ教室のほか、「スポーツフェスティバル」(スポーツの日イベント)や応援するスポーツの取組、「区民体育祭」など多様なイベント・大会等の事業を実施しました(30事業、延べ27,166人参加)。また、スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成、区民のスポーツ活動を促進するための普及啓発に取り組みました。区は、こうした財団の取組を支援するため、運営及び事業に要する経費への助成を行いました。</p>			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>財団では、「すぎなみ名物ファミリー駅伝」を6年振りに本来の規模で開催したほか、「スポーツ始めキャンペーン」の実施施設を増やすなど、精力的に事業に取り組んだ結果、事業の参加者数は令和5年度と比較して約8%増加しました。</p> <p>公益財団法人として、今後も公益性の高い事業の実施が求められている一方、ここ数年、財団では年度途中での職員の退職が発生するなど、組織体制や職員構成が課題となっています。こうした状況を踏まえ、中学校の部活動支援の充実について検討するなど、財団が今後注力すべき業務やその体制について、方向性を定める必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	<p>財団では、令和7年度の事業計画に基づき、各種スポーツ教室・大会等の事業、スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業等を着実に実施しています。区は財団へ補助金を交付し、これらの事業実施や団体運営を支援しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>財団が今後注力すべき業務として、中学校の運動部活動の支援や障害者スポーツの推進に資する取組の充実などについて、区と財団で検討を進めています。併せて、財団がこれらの取組を着実に実施することができる組織体制についても検討し、今後の方向性を定めていきます。</p>

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)
II. 事業の改善の方向性の理由	今後の財団のあり方に関する検討状況を踏まえつつ、令和8年度における財団の運営及び事業を行うに当たり、より効果的・効率的な方法がないか見直しを図った上で、適切に予算見積もりを行います。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	スポーツ推進計画					款 03	項 06	目 01	事業 003	整理番号	102	
現担当課名	スポーツ振興課					係名	施設管理係		連絡先	1695	昨年度 整理番号	107
上位施策No・施策名	29	誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成24年度	実行計画事業	分野	08	施策	29	計画事業	02	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和6年度 担当課名	スポーツ振興課					事業評価区分	一般					

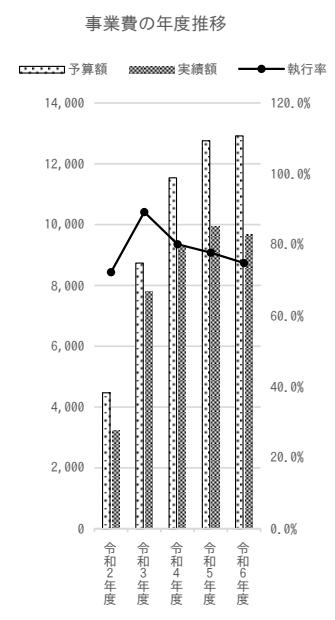
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
区民 スポーツ関係団体	スポーツ基本法第9条
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○スポーツ・運動が、区民により身近になることで健康維持に役立ち、さらに地域のつながり・交流に結び付くよう、スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を推進する。	○スポーツ分野の人材育成プログラム「すぎなみスポーツアカデミー」では、各種の講座を開催するほか、修了者に実践の場を紹介する取組を推進する。 ○障害者スポーツの推進に向け、「障害者スポーツネットワーク」及び「ユニバーサルタイム」の開催や施設のユニバーサルデザインの推進に取り組む。 ○総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援を行う。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	スポーツアカデミー参加者数		人	計画	300	300	300
成果指標	ユニバーサルタイム開催回数		回	実績	291	419	637
	成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率	区民意向調査による	%	達成率	97.0%	139.7%	212.3%
成果指標	分類 区民満足度指標		人	計画	2	14	20
	ユニバーサルタイム参加人数		人	実績	2	13	20
成果指標	分類 行政サービス成果指標		人	達成率	100.0%	92.9%	100.0%

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	4,469	8,735	11,538	12,756	12,917	15,944
		実績額	3,231	7,796	9,251	9,925	9,672	-
		執行率	72.3%	89.3%	80.2%	77.8%	74.9%	-
人件費	千円	予算額	8,718	11,054	21,525	9,150	9,208	17,968
		実績額	9,353	15,017	9,150	10,882	11,123	-
		執行率	107.3%	135.9%	42.5%	118.9%	120.8%	-
上記以外の職員	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	13,187	19,789	33,063	21,906	22,125	33,912
		実績額	12,584	22,813	18,401	20,807	20,795	-
		執行率	95.4%	115.3%	55.7%	95.0%	94.0%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	437
		国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0	-
		その他の 補助金等 ③	0	0	0	0	0	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	3,537
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	13,187	19,789	33,063	21,906	22,125	30,375
		実績額	12,584	22,813	18,401	20,807	16,961	-
		執行率	95.4%	115.3%	55.7%	95.0%	76.7%	-



特記事項

すぎなみスポーツアカデミーの実施内容の精査、ユニバーサルタイムにおける賃借料の実績残等により、執行残が生じています。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	すぎなみスポーツアカデミーの運営	5	講座	2,137
	チャレンジアスリートの開催	191	人	2,754
	障害者スポーツの推進	426	人	4,624
	健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会	1	回	106
	その他 (総合型地域スポーツクラブ研修ほか)			51

取組成果	健康スポーツライフ杉並プラン推進懇談会を開催し、令和6年度における計画事業の進捗状況等について委員から今後の取組に生かせる多数の意見をいただきました。ユニバーサルタイムは荻窪体育館12回、上井草スポーツセンター8回の計20回開催（令和5年度より7回増）し、延べ426人が参加しました。開催に当たり、関係団体からなる障害者スポーツネットワークでより良いプログラム内容や使いやすい施設のあり方等について意見を聴取しました。また、令和7年度から新規実施予定の3か所目の体育館について検討し、永福体育館で開催することとしました。すぎなみスポーツアカデミーは、だれもが基礎的なことを学ぶことのできる一般科目と専門的なニーズに対応する専門科目を合わせて5講座開催し、延べ450人が参加しました。チャレンジ・アスリートはオリンピック種目等の実技体験を3回、スポーツに関する職場見学を5コース行い、延べ191人が参加しました。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	ユニバーサルタイムは、荻窪体育館では月1回の開催が定着し、指定管理者と連携した円滑な運営のあり方を確立する段階にきています。上井草スポーツセンターは、立ち上げから3年目となり、運動場での実施についてはノウハウが蓄積されつつあるため、体育館での実施についても安定的な運営スタイルを確立する必要があります。また、永福体育館での障害者スポーツネットワークとユニバーサルタイムの立ち上げに当たってはネットワークのメンバーや、近隣の特別支援学校へのアンケート調査などを踏まえて当事者のニーズを反映したプログラムを実施する必要があります。また、今後のユニバーサルタイムの継続的な実施に当たっては、現場を支えるサポートの養成に加え、現在は一部業務を委託している指定管理者の役割の拡充について検討するなど、実施体制の充実に向けて取り組む必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	学校施設を活用した地域スポーツ振興事業は、小学校の校庭開放事業「遊びと憩いの場」の実施時間中における校庭の一部を活用し、令和7年度は方南小学校で11月以降に計6回の実施を計画しています。令和7年度のユニバーサルタイムは、荻窪体育館及び上井草スポーツセンターで各12回、永福体育館で4回開催する予定です。6月に開催したユニバーサルタイムサポーター養成講習会の修了者や新たな学生ボランティアなどが、ユニバーサルタイムに関わることで、ユニバーサルタイムの継続的な取組となるよう実施体制を充実していきます。
事業の方向性・改善策	杉並区スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」（令和4年度～令和12年度）は、令和8年度に計画期間の中間年度となることから、各計画事業の取組状況や課題、総合計画・実行計画との整合、国及び東京都の動向など状況の変化を踏まえ、改定に向けて検討する必要があります。令和8年度以降もユニバーサルタイムの開催場所、実施回数は拡大していく予定であることから、引き続き参加者アンケートや障害者スポーツネットワークでの意見を参考に、より多くの方が参加できるよう開催日や時間帯の設定について検討するとともに、プログラム等について充実を図ります。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	スポーツ推進計画の改定に向け、区民のスポーツ・運動に関するアンケート調査等の経費を計上する予定です。令和8年度のユニバーサルタイムは、荻窪体育館及び上井草スポーツセンターで各12回開催するほか、永福体育館で8回開催する予定です。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	体育施設の維持管理						款 03	項 06	目 02	事業 001	整理番号	103
現担当課名	スポーツ振興課						係名	施設管理係			連絡先	1695
上位施策No・施策名	29	誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり						電話番号	昨年度 整理番号		108	
事業開始	昭和30年度	実行計画事業		分野	08	施策	29	計画事業	01	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）	
令和6年度 担当課名	スポーツ振興課						事業評価区分	施設維持管理				

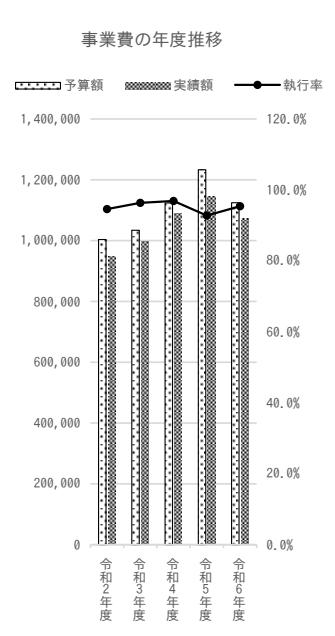
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
施設利用者（区民、団体等）	スポーツ基本法第2条、12条 杉並区体育施設等に関する条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
施設を常に良好な状態に保ち、すべての区民にスポーツ活動の場を提供する。	○運動場12か所、体育館6か所、プール5か所の維持管理を行う。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
				計画	-	実績	-	達成率	-	計画	-		
				実績	-	達成率	-	計画	-	実績	-		
成果指標	分類			達成率	-	計画	-	実績	-	達成率	-		
				計画	-	実績	-	達成率	-	計画	-		
				実績	-	達成率	-	計画	-	実績	-		
分類	分類			達成率	-	計画	-	実績	-	達成率	-		
				計画	-	実績	-	達成率	-	計画	-		

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	1,003,455	1,033,991	1,123,853	1,232,974	1,124,560	1,323,332
		実績額	949,251	996,325	1,088,865	1,143,913	1,072,873	-
		執行率	94.6%	96.4%	96.9%	92.8%	95.4%	-
人件費	千円	予算額	49,693	51,018	40,046	46,581	46,878	56,470
		実績額	63,773	51,893	49,908	52,737	53,903	-
		執行率	128.3%	101.7%	124.6%	113.2%	115.0%	-
上記以外の職員	千円	予算額	0	3,628	3,675	3,678	3,807	4,643
		実績額	0	3,675	0	3,807	4,643	-
		執行率	-	101.3%	0.0%	103.5%	122.0%	-
(事業費+人件費)	千円	予算額	1,053,148	1,088,637	1,167,574	1,283,233	1,175,245	1,384,445
		実績額	1,013,024	1,051,893	1,138,773	1,200,457	1,131,419	-
		執行率	96.2%	96.6%	97.5%	93.5%	96.3%	-
財源	千円	受益者負担分	0	0	0	0	0	-
		①	0	0	0	0	0	-
		国・都からの補助金	0	0	33,332	0	0	-
②	千円	実績額	0	0	33,665	0	0	-
		執行率	-	-	101.0%	-	-	-
		③	0	0	0	0	0	-
④	千円	その他の補助金等	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
⑤	千円	特定財源	0	0	33,332	0	0	-
		実績額	0	0	33,665	0	0	-
		執行率	-	-	101.0%	-	-	-
差引：	千円	一般財源	1,053,148	1,088,637	1,134,242	1,283,233	1,175,245	1,384,445
		(総事業費-特定財源)	1,013,024	1,051,893	1,105,108	1,200,457	1,131,419	-
		執行率	96.2%	96.6%	97.4%	93.5%	96.3%	-



特記事項

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	施設管理運営（指定管理者）	9	施設	690,984
	施設管理業務委託	5	施設	196,867
	松ノ木運動場防球ネット設置工事			81,017
	上井草スポーツセンター防球ネット修繕等工事			10,222
	その他（光熱水費、修繕、備品購入など）			93,783

取組成果	各体育施設では、新型コロナウイルス感染症対策で講じていた利用制限をなくし、コロナ禍前と同様の運営を行い、令和5年度に比べて体育施設の利用者が約2万人増加しました。施設整備については、松ノ木運動場の安全対策のため防球ネットの嵩上げ改修工事を令和5年度に引き続き実施したほか、老朽化した上井草スポーツセンターの防球ネットについても改修工事を行いました。また、高齢者の健康増進や子どもの体力向上等を目的に令和7年度以降に減免制度を順次拡大していく取組について、検討を開始しました。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	下高井戸運動場の防球ネットについて、施設利用者の意見を聞きながら安全性と利便性を両立させられるよう改修を行いました。昨年度に引き続き、利用者満足度を高める取り組みとして、暑さ対策の移動式ミスト扇風機を上井草スポーツセンターに3台増設し、新たに井草森公園運動場にも2台設置しました。このほか、老朽化した上井草スポーツセンターの空調機器のオーバーホールの実施や、施設利用者の利便性を高める取組として主に温水プール用の自動券売機にキャッシュレス決済の導入を行う予定です。また、高齢者の社会参加や健康増進を図るため体育施設の一般使用における減免制度の拡充を令和7年度中に着実に実施していくとともに、令和8年度から実施を予定している子どもの体育施設の一般使用の無償化に向けた取組の検討を進めます。
事業の方向性・改善策	指定管理者制度を導入している施設では、令和6年度に実施した利用者満足度調査で、施設のサービス等に満足していると回答した方の平均が約90%となり、高い満足度を維持しています。また、指定管理者評価委員会における評価においても指定管理者制度を導入している3グループでいずれも「A（良好）」の評価を得ていることから、今後も指定管理者による運営・管理を継続していきます。体育施設利用者の安全性及び快適性を重視し、各体育施設の設備の老朽化に対応するため必要な改修を行っていきます。また、令和9年度から新たな指定管理期間が始まるため、次期指定管理者の選定に向けて令和7年度から準備を進めています。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	体育施設の設備の老朽化に伴う改修の優先度・緊急度を踏まえ、プール槽の塗装の剥がれや空調設備の機器の更新等の年次修繕と合わせて、必要な経費を計上します。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	下高井戸おおぞら公園スポーツコートの整備					款 03	項 06	目 03	事業 002	整理番号	104	
現担当課名	スポーツ振興課					係名	施設管理係		連絡先	1695	昨年度 整理番号	109
上位施策No・施策名	29	誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり					予算事業区分	投資事業				
事業開始	令和4年度	実行計画事業	分野	08	施策	29	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和6年度 担当課名	スポーツ振興課					事業評価区分	一般					

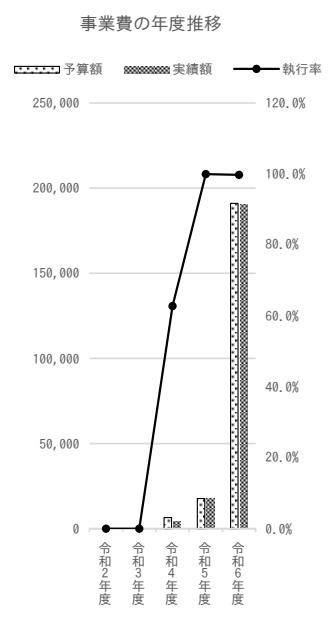
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
施設利用者（区民、団体等）	
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
下高井戸おおぞら公園の多目的スポーツコートの管理棟（パークステーションII）が完成し、利用が開始される。	○令和8年度の開設に向け、多目的スポーツコートの利用者が使用する更衣室やシャワー室、多目的ルーム等を備えた管理棟を整備する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度				令和5年度			
				%	計画	40	100	100	100	100	100
設計進捗率	管理棟（パークステーションII）の設計の進捗状況		%	実績	40	100	100	100	100	100	100
工事進捗率	管理棟（パークステーションII）の建設工事の進捗状況		%	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
				計画	0	0	0	10	10	10	100
				実績	0	0	0	0	0	0	0
				達成率	-	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	-
				計画	-	-	-	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-	-	-	-
成果指標	分類			計画	-	-	-	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-	-	-	-
	分類										

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	事業費の年度推移			
								事業費	予算額	実績額	執行率
事業費	千円	-	-	6,533	17,711	191,039	281,044				
		-	-	4,100	17,701	190,535	-				
		-	-	62.8%	99.9%	99.7%	-				
人件費	常勤職員分 (再任用含)	千円	-	0	6,654	6,697	6,845				
	予算額	-	-	-	-	-	-				
	実績額	-	-	6,904	12,054	13,604	-				
	執行率	-	-	-	-	-	-				
	上記以外の職員	千円	-	0	181.2%	203.1%	-				
	予算額	-	-	-	-	-	-				
	実績額	-	-	0	0	0	-				
	執行率	-	-	-	-	-	-				
総事業費	千円	-	-	6,533	24,365	197,736	287,889				
(事業費+人件費)		-	-	11,004	29,755	204,139	-				
	予算額	-	-	-	-	-	-				
	実績額	-	-	0	0	0	-				
	執行率	-	-	-	-	-	-				
財源	受益者負担分 ①	千円	-	0	0	0	-				
	予算額	-	-	-	-	-	-				
	実績額	-	-	0	0	0	-				
	執行率	-	-	-	-	-	-				
	国・都からの 補助金 ②	千円	-	0	0	0	53,000				
	予算額	-	-	-	-	-	-				
	実績額	-	-	0	0	0	-				
	執行率	-	-	-	-	-	-				
	その他の 補助金等 ③	千円	-	0	0	0	-				
	予算額	-	-	-	-	-	-				
	実績額	-	-	0	0	0	-				
	執行率	-	-	-	-	-	-				
	特定財源 (①+②+③)	千円	-	0	0	0	53,000				
	予算額	-	-	-	-	-	-				
	実績額	-	-	0	0	0	-				
	執行率	-	-	-	-	-	-				
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	-	-	6,533	24,365	197,736	234,889				
	予算額	-	-	-	-	-	-				
	実績額	-	-	11,004	29,755	204,139	-				
	執行率	-	-	168.4%	122.1%	103.2%	-				



特記事項

令和6年度は管理棟の建設工事に着手（前払金支出）したため、事業費が前年度より大幅に増加しました。また、関連する東京都発注の橋梁工事の不調による公園工事の工期変更に伴い、管理棟建設工事の工期を調整しました。そのため、令和6年度は現場着工前の準備行為を実施し、施工を開始していないことから、工事進捗率は0%となっています。
債務負担行為総額：294,000千円（令和7年度まで）

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	管理棟（パークステーションⅡ）建設工事			176,400
	工事監理業務委託			3,300
	その他（追加設計業務委託等)		10,835
取組成果	令和8年度の開設に向け、更衣室やシャワー室、多目的ルーム等を備え、環境に配慮し『Z E B』化する管理棟（パークステーションⅡ）の建設工事に着手しました。また、工事に先立つて、令和6年5月・6月に、公園整備全体に関する工事説明会（オープンハウス形式）を東京都と合同で開催し、地域住民への周知及び意見聴取を行いました（来場者55人）。			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	多目的スポーツコート及び管理棟の令和8年度の開設に向けて、施設の使用料や公園を含む施設全体の運営方法を決定するなど、準備を進める必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	管理棟（パークステーションⅡ）の建設工事を概ね順調に進めています（令和8年2月竣工予定）。また、施設の使用料や運営方法等について検討を進めています。
事業の方向性・改善策	令和8年度の多目的スポーツコート及び管理棟の開設に向けて、公園全体の一体性や、近隣の体育施設である下高井戸運動場及び永福体育館との連携を考慮しながら、施設の運営方法を定めていきます。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	縮小
I. 事業コストの方向性の理由	令和8年度は初度備品等の開設準備に関する経費を計上予定ですが、管理棟（パークステーションⅡ）の建設工事が令和7年度中に竣工予定であり、令和8年度は工事請負費を計上しないことから、予算規模は縮小となる見込みです。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	